

かみふるの 議会だより



No. 69

2011.2.10発行

題字 上富良野中学校2年 書道部 細川 智晴

おめでとう!! 成人!



主な記事

- 第4回定例会 尾岸孝雄氏を名誉町民に..... P 2
- 「個人住宅リフォーム助成」など7名の議員が町政を問う..... P 5
- 委員会報告(厚生文教常任委員会)..... P12
- もっと知りたいまちのことNo.11「一般質問!その後どうなってるの?」..... P16
- 『議会報告懇談会』の結果報告..... 別冊

第4回定例会開催

第4回定例会が12月14日・15日の2日間、開催されました。本定例会では、各会計補正予算などを議決し、平成21年度各会計歳入歳出決算と企業会計決算を認定、その他意見書の提出を発議し可決するとともに、7名の議員が町の一般行政について質問しました。



平成22年度各会計補正予算可決

一般会計、特別会計5会計、企業会計2会計について、債務負担行為補正、地方債補正、事業費確定に伴う執行残の減額、道支出金の増額等についての補正予算を可決しました。

12月補正予算の状況

会計名	補正額	総予算額
一般会計	500万2千円	68億1,625万円
国民健康保険特別会計	1,580万2千円	14億5,382万4千円
後期高齢者医療特別会計	99万7千円	9,599万円
介護保険特別会計	347万5千円	7億8,479万7千円
公共下水道事業特別会計	723万4千円	3億5,785万8千円
ラベンダーハイツ事業特別会計	454万1千円	2億9,950万5千円
水道事業会計	99万2千円	2億6,308万3千円
病院事業会計	1,005万4千円	9億2,143万7千円

印は予算の減額です。

前町長 尾岸孝雄氏

名誉町民に



名誉町民
尾岸孝雄氏

議会において前上富良野町長の尾岸孝雄氏（71歳）を名誉町民として議決しました。尾岸孝雄氏は、平成8年12月から平成20年12月まで町長として3期12年のほか町議会議員、商工会役員などの要職を歴任するなど町の産業振興、自治振興など、まちづくりの進展に多大な貢献をされました。また、名誉町民の功労一時金など250万4千円（功労一時金200万円、肖像画・盾ほか50万4千円）の補正予算を可決しました。

子宮頸がん等ワクチン接種費

全額助成 1千165万円

重い後遺症や死に至る可能性のある細菌性髄膜炎や子宮頸がんの原因である細菌やウイルスの感染を予防し、次代を担う子ども達の健康の保持増進に努めるため、子宮頸がん予防ワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン・ヒブワクチン接種費用の全額助成を行うため、事業費1千165万2千円の補正予算を可決しました。

質疑から

問 接種率が低いのではないかと、対策は考えているか。

答 インフルエンザは4千500名が予防接種を受けている。繰り返し情報提供を行い向上させていく。

意見書を可決し、 国などに提出しました

B型肝炎問題の早期全面解決を
求める意見書

患者との早期和解勧告、医療費助成制度の整備、差別偏見をなくす正しい知識の啓発活動を求める意見書です。

大幅増員と夜勤改善で安全安心の
医療・介護を求める意見書

医師、看護師、介護職員等の大幅増、安全・安心の医療、介護の実現を求める意見書です。

町職員定数193人の 条例を可決

条例を可決

第3次職員数適正化計画で定めた目標値の経過措置と、職員適正化計画期間が終期を迎えることから、町の一般職の職員を平成23年4月から193人とする職員定数条例を可決しました。

各部局別の定数は次のとおりです。

各部局の職員数

部 局	条例定数	現職員数
町 長 部 局	120人	120人
病 院 部 局	50人	46人
町 議 会	3人	3人
教 育 委 員 会	14人	14人
農 業 委 員 会	2人	2人
水 道 事 業	4人	4人
全 体	193人	189人

質 疑 点 から

問 子育て支援などに職員を増やす考えはないのか。病院の50人体制の理由は。
答 財政の見直しなどから現職員をむやみに増やせない。病院の増員の理由は診療報酬改定に対応するためである。

人事院勧告に伴う 職員給与費1千万円を減額

職員給与費1千万円を減額

22年度の人事院勧告に伴う給与条例の改正が、先の臨時議会（22年11月29日）で可決され、それに伴う職員給与費約1千万円の減額補正を可決しました。

産婦人科医師の 確保に549万円を補正

確保に549万円を補正

産婦人科医師を確保するため、富良野市に所在する地域センター病院である富良野協会病院に対し、1市3町1村の過去3年間の外来患者数の割合に基づき当町の負担金549万8千円の補正予算を可決しました。



富良野協会病院

第5回臨時会（11月29日開催）

2千115万1千円を増額し、総額を68億2千125万1千円とする「一般会計補正予算（第7号）」を可決しました。
歳出の主な補正内容は

- ・かみふらの「冬の食と温泉体験観光」発信事業（緊急雇用創出事業の追加）に1千113万9千円
- ・8月の局地的大雨に対する農業施設小規模基盤整備事業等補助に1千559万9千円。
- ・プレミアム付商品券発行事業補助に1千万円

- ・上中陸上部の全国大会中学校駅伝大会出場に対する助成に91万4千円
- ・大雨災害による災害復旧933万6千円。
- ・未経験介護職員雇用（緊急雇用創出事業）で71万6千円を増額し、総額3億404万6千円とする「ラベンダーハイツ特別会計補正予算（第3号）」を可決しました。

給料0.1%引き下げ、55歳以上の課長職1.5%減額、期末勤勉手当0.2月引き下げなど削減効果額1千300万円の「町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例」を可決しました。

意見書を可決し国などに提出しました。
・北海道開発の枠組みの堅持と北海道局の存続に関する意見書

・TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）交渉へ参加を行わない「TPP交渉への参加に関する意見書」

平成21年度決算を認定！

決算特別委員会で集中審議

= 16項目の審査意見を付す =

第4回定例会で平成21年度の各会計（一般、特別）及び企業会計の決算を認定しました。

平成21年度決算については、平成22年第3回定例会において上程され、理事者の主旨説明、監査委員の審査報告のあと、直ちに決算特別委員会に付託されました。これを受け、決算特別委員会が設置され、10月7・8・9日の3日間委員会を開催し、書類審査、質疑などを行いました。決算の認定にあたっては、次の審査意見を付しました。



審査意見

1 町税等の収納について

厳しい経済状況を踏まえて、税の収納については不納欠損額が増加傾向にあるので、さらに収納率の向上に努められたい。

2 建物使用料について

飲料水販売機等の行政財産目的外使用料については、使用料・電気料・消費税について、統一した取り扱いを図られたい。

3 需用費について

経費の節減に努め、特に燃料費については、単価の動向を見極めて購入するなど努力の跡が見受けられるが、引き続き節減に努められたい。

4 備品、消耗品の購入について

備品、消耗品の購入にあたっては、町内業者の育成と地域振興の観点からも町内業者を利用するよう強く勧められたい。

5 補助金について

交付事務については、目的・内容・事業効果、交付基準により適正な事務に努めるとともに、交付側と交付先と同じ所管課の場合は、特に留意されたい。

6 移住・定住対策について

移住、定住対策については、十分な成果が上がっていないので、移住定住の環境整備を図り、総合計画の目標値、年間40人の目標を達成できるよう工夫に努められたい。

7 自主防災組織について

自主防災組織について、災害弱者対策をきっかけとして活性化を図られたい。

自主防災組織の活動強化のため、防災士の協力をいただきながら育成強化に努められたい。

8 地域の活性化について

自然環境と地元食材を生かし、プロジェクトチームを設置し、地域の活性化に努められたい。

地場産品について関係団体と連携を強化して、町内外にPRし販売促進されたい。

9 住民検診について

保健指導の充実・実績を評価するが、さらに未受診者に対し啓蒙されたい。

10 後継者の育成について

職域を越えた後継者の出会いの場を提供し後継者の育成に努められたい。

11 観光振興について

富良野・美瑛広域観光協議会負担については、負担金に対する成果が十分とはいえないので、成果が得られるよう努められたい。

12 コミュニティ施設「中茶屋」の運営について

利用者数、使用料の収入増が見受けられるが、今後の運営主体及び今後のあり方について検討されたい。

13 町営住宅の環境整備について

入居者が安心して住める環境整備に努められたい。

14 上富良野町特別支援教育連絡協議会について

平成20年度から開催されていないので、活動の活性化を図られたい。

15 国民健康保険特別会計について

経済状況が厳しい中で、加入者世帯の負担増にならないように運営に努められたい。

16 病院事業会計について

医師、看護師の確保に努められたい。

診療費収納のクレジットカード導入については大変効果が見られるので今後さらに周知徹底に努められたい。

100万円以上のリフォーム1件につき、20万円の助成事業を考へてはどうか。雇用や地域の経済活性化になると考へるがい



リフォーム中の個人住宅

個人住宅リフォームに助成を省エネ、新エネ、福祉機能向上の組合せ事業として新年度に取り組む

村上議員 公共事業の減少により、地元の土木建設業者も大変厳しい状況にある。町民の生活の面でもバリアフリーやエコ対策とリフォームを手がけたいときに助成等があればやりやすく、住居の普請と地元に着した事業者は欠かせない要素である。

町の雇用、経済活性化につながるのでは。
向山町長 21年度に策定した地球温暖化対策実行



村上議員

向山町長 この公園は、平成19年度から観光協会による指定管理施設として供用を開始し、公園開設から4年目を迎え、公園内案内所利用者が過去最多となった本年度でも6千400人ほどで、1日当たり50人に満たない実態であるが、国道通行量の現状分析から、誘客数の

また、一般質問等を通じ、公園に関する利用促進策が提起されており、低迷する観光客入り込み数の増加とあわせて、上富良野町のPRに大いに役立つものと確信し、今回の改修計画を持った。実施は、平成18年度の反省もあり、今回の計画立案にあたり、周辺住民

向山町長 公園の設置から今日の経緯・経過も承

Q 林業活性化へ林道整備を
A 森林所有者、施業者から要望を聞き、国等の制度を活用し推進することは重要であると認識している。
Q 子ども達の活字離れが
A 昨今課題となっており、図書室の充足率が上小89%、東中小98%、江幌小71%である。この3校の100%の充足を。
A 年次的に整備を進め充足率を高める。

その他の質問

ような努力を続ける。

見晴台公園の改修は住民の合意を得て行うべきでは
周辺住民の理解のもと
改修計画と位置付ける

村上議員 見晴台公園改修計画は、周辺住民の強い反対や意見等があり、これを無視して改修計画を進めるわけにはいかな

増加を含め、十勝岳連峰への景観ポイント、また市街地、日の出公園、十勝岳方面へのアクセスポイントという最高の立地条件を備えており、まだまだ地域振興につなげる大きな可能性を秘めている。



見晴台公園

知している。設置目的が今日まで十分にその成果が発揮できていないというような実感を痛切に感じている。
質問にあるように周辺住民の御理解をいただきたい、そして進めるということ、お互いが理解を高め、その時点をもって改修計画と私は位置付けている。お互いが新しい活性化のためのまちづくりに向かって方向性が一つになるような、そういうような努力を続ける。



今 村 議 員

中山間地域等直接 支払制度への加入意義は 農業者の経営安定に 必要な農業施策の基本

今村議員 農水省が言う

ように中山間地域等の果たしている役割は素晴らしいものがあると思うが、町にとつての中山間地域等直接支払制度に加入する意義、特に加入することによって農業の活性化にどのように繋がるのか。

向山町長 この制度は、

農業生産条件が不利な状況にある地域などにおける農業生産活動の維持や農地が果たす多面的機能の確保を目的に、対象農

地耕作者への直接交付、



中山間地域等イメージ図

調整を行っているところである。

今村議員 この制度への加入の必要性を、以前から同僚議員が発信している。なぜ今まで加入しなかったのか。あるいはできなかつたのか。

向山町長 当時は調査費が高額であり、4から5倍であった。加えて8法指定になつてなく、町が自ら負担する真水（一般財源）の部分が大変高額となり、よつてなかなか事業スタートに踏み切れ

なかつたと理解している。近年、制度導入のための調査費用が大きく軽減されたことや、5年ごとの期限計画になつている

中山間地域等も含めた直接支払制度を、農家を守るために固定化する考えもある。それに環境が整つたということである。

今村議員 良い制度と思う。環境が整つたとは。

向山町長 水田地帯においては土地改良区を中心とする水利組合が、何十年という歴史を刻んで運営され、その仕組みの中で農地・水・環境対策が行われており、取り組みやすかつた。

一方、この中山間地域等の主な対象地となる町内の畑作地帯を中心とする周辺部は、そういう共同作業の仕組みが整つてなく、集落協定を結ぶというところへの理解に非常に時間を要した。それらの認識が国の指導もあり、中山間地域等直接支払制

度は、自分たちの地域を守るためには大事なことであるとの認識が近年急に高まり、そういった環

農業被害における 種子代の助成は 戦略的作物が見当たらず 他の助成策を講じる

今村議員 前回の一般質問の答弁で、「町で対応できることとしては種子代の助成だとか、そういったことは対応可能なと思う」旨の発言について、臨時議会は終了し各種助成策が講じられたが、今後の種子代助成への取り組みは。

向山町長 被害に遭われた農業者皆様の営農継続に資するため、さきの臨時議会において小規模基盤整備及び土砂流出復旧への助成、23年度における営農支援のための融資に対する利子等の助成を行おうとしたところである。種子代の助成については、町が戦略的に奨励

境も整つたということを総合的に判断して今回、この事業に参加することに踏み切つた訳である。

する作物で、しかも生産費の中で種子代が高いウエートを占めるようなものに対しての助成であれば、事業効果は期待できるが、現段階ではそのような戦略的な作物が町には見当たらないことから、先に述べた助成策により、23年度以降の経営支援を講じることが有効と考えている。



種子の一例



やまびこ高原から眺める十勝岳連峰

和田議員 十勝岳連峰の
景観の美しさは上富良野

グリーンツーリズム・
フットパスで観光の振興を
ビジネスチャンスとして
魅力をもっている



和田議員

からの眺めが一番だと思
うが、これまでこの観光
資源を十分に生かしてき
たとはいえない。ポス
ターや観光雑誌の見出し
に上富良野の名前は出て
こない。これまでの消極
的な観光行政が近隣市町
村から取り残されたと思
う。宿泊旅行者の経済効
果は大きく、滞在型観光
を目指すためにどの様な
ビジョンを持っているか

向山町長

農商工連携を
強化し、地場産品を活用

した特徴ある上富良野と
豊かな観光資源を積極的
効果的にPRし、知名度
の向上と来訪者の増加を
図るための一つとして見
晴台公園の改修も位置付
けている。また、アジア
圏を中心とした外国人観
光客を誘致するため、富
良野・美瑛広域観光推進
協議会と連携し振興を
図っていく。

和田議員

上富良野の観
光を伸ばしていくにはグ
リーンツーリズムとフッ
トパスではないかと思う。

長沼町では農家民泊で年
間4千人以上の修学旅行
生を受け入れているが、
上富良野でも生徒だけで
なく、一般の人も対象と
して特にアルバイトをし
ながら経営を続けている
民宿を支援して、農家、
温泉、文化施設などを結
びつけたビジネスモデル
を作成してはどうか。
また、フットパスは
「フットパスベストコー
ス北海道」という本の一

番目に「千望峠パス」が
紹介されており、こうい
うチャンスを利用して町
外に大いに発信してい
べきではないか。

向山町長

グリーンツー
リズムについては町がど
の程度関与すれば良いか

アマチュア画家の
郷土美術館の建設をしては
貸館など文化活動の
発表の場の提供で応援する

和田議員

これまで町の
社会教育は体育に重点を
置かれてきたが、体育施
設が充実した現在、これ
からは文化施設の整備に
努めるべきである。

上中の私達の恩師だっ
た松野先生が80数点の絵
画を残されていた。また、
この1年の間に町にとつ
て貴重な作品を残してい
る2人のアマチュア画家
が亡くなられている。こ
れらの町の文化的な財産
ともいうべき作品を未長
く保存するために、アマ
チュア郷土美術館(仮称)



難しいが、ビジネスチャ
ンスとしては大いに魅力
をもっている。フットパ
スは上富良野にそれだけ
の観光資源を持ち合わせ
ているあかしなので、皆
さんの意見をいただき、
知恵を出していきたい。

北川教育長

アマチュア
画家の作成した絵画の展

示は通常の施設利用、貸
館などで期間を決めて実
施しており、常設展示は
絵画の所有者や関係者が
対応するものであり、ア
マチュア郷土美術館の建
設は想定していない。
和田議員 たとえば空き
店舗を改装してこれに当
てるならば、少ない予算
で空き店舗対策と一石二
鳥の効果がある。
また、その他の空き店
舗のシャッターなどにト
リックアートを描いても
らい、民間が開設してい
る美術館と合せて上富良
野が美術の町、美術に関
心の高い町として発信す
るならば町のイメージ
アップになると思うが。
北川教育長 文化活動と
しての意義を図りながら、
現在のところ発表の場と
して応援する対応の仕方
で進めたい。
作品については地域の
皆さんの力添えで支えて
あげること、我々とし
ての役割と判断する。



米 沢 議 員

住宅リフォーム助成で 地元業者の支援を

町として

助成制度を具体化する

米沢議員 地元業者支援
のためにも、住宅リフォーム
△助成制度の実施を。

向山町長 かねてより幾

度も同様のご質問をいた
だいており、その答えの
折には、一般的な住宅の
機能の復帰や現状機能を
高めることを目的とした
増改築については、制度
的な助成は難しいと答弁
してきたが、今、省エネ
ルギー・新エネルギービ
ジョンがそろって作成さ

れることから、この実効
を上げることが目的とし
、上富良野町としての住宅
リフォーム助成制度を具
体化するよう、現在、制
度設計を進めていること
ろである。さらに、議員
提案の地域振興にも繋が
るように考慮した内容と
して、近い時期に具体的
な案も示せるよう取り進
めたい。

道道吹上線と東1線 交差点に信号機の設置を 地元の要望を 取りまとめ検討したい

米沢議員 道道吹上線は
車の往来も多く、通学路
にもなっており、手押し
信号機の設置を検討して
は。

向山町長 町内における
交通安全施設の設置要望
については、毎年4月に

皆さんから意見を聞いて、
意見集約を行い、生活安
全推進協議会とともに富
良野警察署へ要望を行っ
ている。

22年度の要望内容は、
信号機の設置が6カ所、
規制標識の設置3カ所と



道々吹上線と東1線の交差点

なっている。質問の箇所
については、22年度の要
望には入っていないが、
今後、地元の意見を聞く
とともに各住民会長から

子どもの

医療費無料化の拡大を 国の子育て支援の 動向を見極め検討したい

米沢議員 子どもの医療
費無料化の拡大について
今後、十分検討したいと
述べているが、どのよう
に検討されているのか伺
いたい。

向山町長 町単独の事業

として、平成20年10月1
日から3歳未満児と住民
税非課税世帯の3歳以上
就学前児童の初診時一部
負担金についても助成し
て完全無料化し、子育て
世帯の医療費の負担軽減
による子育て支援対策を
進めている。

22年6月の定例議会に
おいても答弁しているが、
小・中学生の医療費を完
全無料化した場合には、

の要望を取りまとめ、
生活安全推進協議会にお
いて設置について検討し
ていただきたいと考えて
いる。

多額の財源を必要とする
ので、国などの子育て支
援の動向を見極めながら
今後のあり方については
検討したい。

その他の質問

- Q 公営住宅の建て替えに
ついて
- A 入居者の意見を聞き進
めたい
- Q 小規模多機能型介護施
設の確保を
- A 方向性を示したい
- Q 包括支援センターに社
会福祉士の配置を
- A 具体的に検討したい
- Q 日中一時支援の算定額
の見直しを
- A 改善したい
- Q 小中学校の耐震診断後
の対応は
- A 早期に耐震対策が図ら
れるように対応したい



一 色 議 員

上中部活動参加経費 負担の見直しについて 現行のルールで進めたい

一色議員 中学校体育・文化活動参加経費負担の見直しについて、現在助成対象が全額の70%となっているが、100%にならないか。

北川教育長 管内市町村の実態を調査検討して平成20年4月から参加負担要綱を施行しており、現行ルールで支援を続けたい。

一色議員 現在、私たちの町の子ども達は非常に頑張っている。特に上中では生徒会長が生徒総会

していただくことで現行のルールで進めたいと考えている。

一色議員 上高の振興事業について、進学や就職に向けた対策が最優先であるとのことだが、具体的にどのような対策が図られたのか。

北川教育長 国際交流、中高生の交流支援、上高ドリカムサポート事業、進学就職に対する支援等を継続して行っている。

一色議員 様々な努力をされているが具体的に定員の確保につながっているのか。

北川教育長 22年度は定員40名の枠を確保されたが、これも野球部を応援しようという事業展開からであり、23年度は現在厳しい状況にある。進学や就職対策が最優先として今後も進めたい。

一色議員 少子化の中でそのみでは存続は非常に難しい。私は大きな仕掛けが無ければ根本的な

解決策にはならないと思うがどうか。

北川教育長 今は野球部の関係でにぎわっているが基本的には出口（卒業後）の部分に対応し、強化充実が図られることが大切であり、その対応の中から学校と調整を図り進めていきたい。

一色議員 上中は富良野沿線吹奏楽の発祥の地である。保育所、幼稚園、小中学校と楽器に馴れ親しんできた子供たちが、すばらしい指導者に恵ま



4年連続全国大会出場（上中吹奏楽部）

れ、上中は4年連続全国大会出場という金字塔を打ち立てた。これまで育った子ども達が他に流れていく。子ども達が頑張っている。行政が大きく踏み込む必要がある。上高を日本一の吹奏楽部にし、我が町を吹奏楽の町として全国に発信しようではないか。町長の考えは、**向山町長** 熱い思いを持つてる子ども達を育むとい

店舗の新增築に 300万円の助成を 商工会と協議して 振興策を講じたい

一色議員 店舗の新築・増築、空き地空き店舗を利用して事業を起こす個人や団体会社に対し資金の助成を行い、商店街の活性化と空洞化を防止する。そのためにかかる費用の最大50%を補助、上限を300万円以内とし、その工事は地元の建設業者を利用する振興策を。

向山町長 平成13年から18年まで新築・改築等の一部を助成する事業を展開し、31件で約1億400万円の助成を実施した。今後、この事業が商工業者の努力により成果が生まれてくるものと期待している。これらの推移を見ながら商工会と十分に協議や意見交換を重ねて商業振興策を講じていきたい。



中 村 議 員

上富良野中学校の屋外 グラウンドの改修整備を 優先度が高いので実施計画で 位置付け取り進める

中村議員 上富良野中学

校の部活動の活躍はめざましく、町民に明るい話題を提供されるとともに、今後の活躍を町民が大きな期待をしている。

現在の屋外グラウンドの整備は昭和59年から昭和62年に改修されてから37年が経過し、表土は長年の風雨に流され飛ばされて少なくなっており、水はけが悪くなり、芝生との段差が大きくなっている状況である。



38年前のグラウンドの芝種の
吹き付け（昭和61年9月）

は、22年、町内の土建業者さんのボランティアにより整備が行われた。中学校グラウンドは、

上小、西小グラウンド

は、22年、町内の土建業者さんのボランティアにより整備が行われた。中学校グラウンドは、

授業に部活動にと利用する頻度が非常に高く、整備について学校長及び部活動指導の先生方からも強い要望がある。頑張っている上中学生と、これから入学してくる生徒のために、早急な整備について伺いたい。

北川教育長 議員の指摘とおりグラウンドの土については、長年の風雨により表土が流され、芝生

上高第2グラウンドの 環境整備を 適正な管理運営をするよう 高校と関係機関に要望する

中村議員 高校第2グラウンドは、現在は高校改

築工事残土が置かれ、その上に雑草木が繁殖し、荒れ放題の最悪の環境にある。

丘町住民会からは、住宅街の中で環境と景観にも非常に悪いので、早期整備の強い要望により、昨年秋季にも若干整備されたというが、状況は大き

この段差が生じており、野球の内野とトラック部分においても高低差が生じているので、マウンド及び内野塁間の範囲とトラック部分を含めて、全面的な改修が必要であると考えている。

町内の学校施設整備・修繕事業等の中で、優先度は高いと認識して実施計画に位置付けて取り進めたいと考えている。



雑草木が繁殖したグラウンドにあるバックネット

く変わっていない。また、年2回の草刈りを行う計画も周囲の道路沿いと一部だけであり、抜本的な環境整備と活用策を高校及び道教委に強く求めていくべきでは。

を受けしたが、現状から年1回しか刈っていないと容易に推察でき、十分環境に配慮した整備がなされていないことも認識している。適正な環境整備と管理について、上富良野高校を含め関係機関に要望していく。

道道291号吹上上富良野線の 街路灯の増設を道に要望を 必要性を認識しており 早期に道に要望する

中村議員 吹上上富良野

線は市街地を走る幹線であるが、街路灯が他の道と比較すると非常に少なく、吉谷生花店からセブンイレブン東町店までの道筋にある商業施設の店内照明及び広告照明が消灯する午後8時、午後9時過ぎになると一挙に暗くなり、歩行者は不安な気持ちで歩いている。

特に、商業施設がない地域は日没とともに、そのような状況になり事故・災害等も懸念される。

沿道の住民会等からも長年にわたって要望が出されているので、増設要望を道へ積極的に展開を。

向山町長 町は平成19年度に夜間の交通安全確保歩行者の出入り増加等を含めて街路灯の増設を道に要望した経緯があるが、必要性の認識は議員と同様に持っている。加えて、歩道も未整備なので、町として非常に重要な道路であることを強く訴えて早期設置されるよう努力する。



岩 田 議 員

地域別町政懇談会の開催を 懇談方法を研究し検討する

岩田議員 地域別町政懇談会は、10年程前より行われていない。自治基本条例の精神からも、広く町民の意見を聞くことは重要であり町政懇談会の開催を。

向山町長 地域別町政懇談会は、平成13年度に廃止した。新たな事業として、「まちづくりトーク」「町民ポスト」町長と語る」を、平成17年度にはパブリックコメント」「出前講座」を制度化し、現在は、「住民会長との町政懇談会」を開催して

要と考える。町民の皆さんと研究し検討する。
岩田議員 富良野市、中富良野町、南富良野町は、年1回、占冠村では年2回開催されている。ほとんどの市町村で取り組んでいる。受け身ではなく、町民の中に出向く取り組みが必要ではないか。
向山町長 過去に参加者の減少により、現在の仕組みになった。内容を工夫して、一人でも多くの町民のお話を聞くことはベストと考えている。今後、住民会長や職員間で協議を重ねる。



第1回 議会報告懇談会の様子

岩田議員 地域力を高めるため、町と町民の協働のまちづくりの方法として、職員が地域に出向く地域担当職員制度は、町民にもわかりやすく町民と職員のコミュニケーションが図られるため制度の導入を。

地域担当職員制度の導入を 現在、予定はないが検討する

岩田議員 地域力を高めるため、町と町民の協働のまちづくりの方法として、職員が地域に出向く地域担当職員制度は、町民にもわかりやすく町民と職員のコミュニケーションが図られるため制度の導入を。

向山町長 担当する職員が、行政全般を熟知するのは困難で、すぐ回答できない。そのため、自治推進班を中心に対応することがタイムリーであり、現在のところ導入の予定はないが、検討したい。

岩田議員 5年後、10年

向山町長 過去に参加者の減少により、現在の仕組みになった。内容を工夫して、一人でも多くの町民のお話を聞くことはベストと考えている。今後、住民会長や職員間で協議を重ねる。

地域担当職員制度の導入を 現在、予定はないが検討する

岩田議員 地域力を高めるため、町と町民の協働のまちづくりの方法として、職員が地域に出向く地域担当職員制度は、町民にもわかりやすく町民と職員のコミュニケーションが図られるため制度の導入を。

向山町長 担当する職員が、行政全般を熟知するのは困難で、すぐ回答できない。そのため、自治推進班を中心に対応することがタイムリーであり、現在のところ導入の予定はないが、検討したい。

岩田議員 5年後、10年

緑町団地の適正な運営を 草刈り・除雪は入居者と 協議して適切に管理する



緑町団地の空き住宅

向山町長 入居者とは協議しているが集約できない。集約ができるようであれば、解体して更地にしたい。

岩田議員 地域住民がほとんど草刈りや除雪を行っているという。町として空き住宅の周辺の草刈り及び除雪は適切に行われているか。

向山町長 十分確認のうえ、担当より報告する。

中田町民生活課長 ガスボンベ、生活用品の放置もあり改善を図る。草刈りや除雪についても入居者と十分協議して適切な管理をする。

岩田議員 これまで空き住宅での事故等はないのか。長年、入居者がいないのにガスボンベを放置してあったり、生活物資がそのままの空き住宅があるが、事情があるのか。
向山町長 事故の報告はない。状況を確認したい。
岩田議員 42戸のうち7戸しか入居していない。集約を図り、入居者のいない棟は、解体して更地にすべきではないか。

その他の質問

〇意見公募（パブリックコメント）にモニター制度の導入を
A 多くの方々のご意見をいただけるよう取り組む

委員会所管事務調査報告

厚生文教常任委員会

『道外先進市町村行政調査』

平成22年11月15日から19日までの間、厚生文教常任委員会は先進市町村である鳥取県北栄町・湯梨浜町、島根県美郷町・邑南町を視察し次の事項について調査を行った。

『地球温暖化対策の取組み』

鳥取県北栄町

(人口1万6千193人 H22・10・1現在)

島根県美郷町

(人口5千614人 H22・10・1現在)

北栄町、美郷町ともに省エネルギー・新エネルギービジョンに基づき、町内における新エネルギーの利用可能量が試算され、二酸化炭素の削減に向けた取り組みが積極的に実施されていた。その中で利用可能量の構成比率の高いエネルギーに絞り込み、コスト面の検討などを行い、実現可能性を評価し、新エネルギーの導入を進めていた。また、ペレットストーブや太陽光発電など環境設備の機器設置に必要な補助制度も充実し、地球温暖化防止に対する住民意識

の向上に繋げる行政の姿勢が重要と判断された。

北栄町の「環境家計簿」や「我が家節電家族」の取り組みに見られるように、日常生活を通して町民の一人ひとりに地球温暖化・二酸化炭素の削減に関心を持つてもらえる取り組みが必要ことからビジョンの実現に向けては、住民・事業者・行政がそれぞれの立場で役割を持ち協力する体制づくりが進められ、幼児や児童、生徒の時期から環境教育が実践されていることは参考となった。



島根県美郷町のペレットストーブ

特に北栄町は、風という負の遺産をエネルギーに換え、活力と安らぎを与える理念のもとに巨額な投資にも関わらず、住民理解のもと行政・住民が一丸となって取り組む姿勢が強く感じられ、町の担当者の『地球温暖化は地球の問題ではない、人類の問題である』という言葉が印象的であった。

『まとめ』

このように北栄町、美郷町とも首長の力強いリーダーシップの発揮のもとに様々な取り組みが実践されており、本町においても二酸化炭素の削減目標を平成32年まで25%、町民1人あたり1.73トンを目指しており、その実現のために新エネルギー計画を策定し、利用可能なエネルギーの種類と量を把握し、その柱となる地球温暖化対策実行計画を着実に進め、環境保全と循環型社会のシステムづくりを推進することが求められており、その取り組み姿勢こそ問題を解決する上で重要である。

『少子化対策の取組み』

鳥取県湯梨浜町

(人口1万7千74人 H22・10・1現在)

子供は「未来の夢」「次世代の希望」であり、0才から15才までは町の責任で子供を安心して生み育てる環境を作る「ゆりはますこやか子育てプラン(次世代育成支援後期行動計画)」を平成22年3月に策定し、

重点目標として次の項目を掲げていた。

在宅子育て家庭の支援

仕事と子育ての両立の支援

配慮が必要な子供と家庭の支援

地域で子育てを応援していく意識の醸成

実施目標達成のための取り組みをしていた。

親と子が共に学び、地域が生きる環境

づくりのための子育て相談や両親の子

育て教育、赤ちゃん登校日事業を全小

中学校で実施し、命の尊さを学ぶ講習

会等や広報も充実している。

子育ての全ての家庭を応援するための

ネットワーク会議。子育て支援コーディネ

ーターの配置の相談。また保育料は

県内で最も低く、例えば第7階層の3

歳未満児は国で月8万円のところを3

万2千円として配慮している。出産・入

学祝い金は第3子以後にそれぞれ10万

円を支給している。

働きながら子育てをしている人を応援

する環境づくりでは、出産のため仕事

を中断した人の再就職先の支援や病後

児保育事業を近隣の倉吉市に委託し、

負担は1日315円。ファミリーサポート

センターは1時間500円。放課後児童ク

ラブは6年生まで15人から20人に1人

の指導の先生がついている。

子どもが安全安心に育つまちづくりの

ために、公共施設等の喫煙防止やユニ

有害図書の販売規制や不妊治療費に県と町でそれぞれ17万5千円受けられる。

島根県邑南町

(人口1万2千30人 H22.8.1現在)

合計特殊出生率1.98(平成17年、県内トッ

プクラス)で誰もが「子育てはこの町で」

と思いたくなるような制度の充実を図り、

「子どもが笑顔、みんなが笑顔、あつたか

子育ての町・おおなん」を理念とし、全て

の地域の人々が子どもや保護者を温かく見

守り、応援する気持ちを持つ事が大切であ

るとしている。次世代育成支援行動計画を

平成22年3月に策定し、

基本目標として次の項目を掲げた。

子どもと子育てを支える地域づくり

いきいき子育てでできるまちづくり

子どもがすくすく育つまちづくり

取り組みの特徴

専門家チーム

個別支援チーム

などの支援者会

議で機能整備を

図る。

妊婦歯科検診や

2歳児のフツ素

塗布が100%。

23年から不妊治

療費15万円助成

を予定。一時預かり保育

や延長保育の充実。

病時・病後児保育は1日2千円で、公立

邑智病院の保育室で行われ、町外からの

里帰り出産も利用可能。

保育料は国の6割程度に軽減。

民間の保育所運営に補助金を交付。

放課後児童クラブ利用料は年4千円、ひとり親は2千円、生活保護世帯は免除。

中学生まで子宮頸がんワクチン助成。

高校生までインフルエenzaワクチン無料。ヒ

ワクチン、小児肺炎球菌ワクチンも無料。

教育においては、低学年の複式支援や個別

支援の支援員を配置している。

子どもを持つ親の教育、父親のイクメン

プロジェクトや、ママの就労支援も充実。

『まとも』

湯梨浜町の「子育て支援課」を始め、子育て意識と行動力の醸成は素晴らしく、邑南町の里帰り出産で助成を受けられる仕組みは、他町村では見られず、町全体で出産のハード・ソフトの両面で支えている点や、情報共有も充実していた。少子化対策は町の活性化に繋がるとした邑南町長のビジョンが伺えた。両町とも安心して子育てできる環境づくりに徹底し、町として柔軟な対応と基本計画に基づき、邁進していた。我町も十分に検討を重ね、実施に向け研究すべきだと思われる。

もっと知りたい まちのこと

No.1

『一般質問！その後
どうなってるの？』

今回は、平成22年11月9日に町内4会場で初めて開催した「議会報告懇談会」において、多くの皆様から「一般質問は、その後、どうなっているのか？」という質問をいただいたことと、当初から一般質問の追跡調査の企画を考えていた広報委員の考えが一致して、今回の企画記事となりました。各定例会で出された一般質問がその後どのように町政執行に反映されたのか。また、どのような位置付けや意識改革に役立ってきたのか。過去4年間では、広範囲に及ぶことから、

『平成19年9月から平成20年6月までの質問を中心に、その後の関連質問を含め、町民皆様の身近なことなど』
6項目を選択し、その後を追跡してみました。

町民にとって身近な議会活動を進めるため、『議会だより』による読みやすく分かりやすい広報誌づくりや、皆様から直接生の声を聞く『議会報告懇談会』などで、議会に対する皆様のご意見が反映される「開かれた議会」を目指して、上富良野町議会は活動しています。

パークゴルフ場コース増設に関する質問

問 現在は3コース27ホールであるが、4コース36ホールに増設できないか。
(H20年3月議会、議会だより58号)

答 第5次総合計画での位置付けに努める。

この質問の

その後は

増設の件については、町民利用者が横ばいであることと、増設に係る事業費等を勘案し、第5次総合計画に位置付けしないことになった。

問 現地積でのパークゴルフ場コースの増設を。(H22年6月議会、議会だより67号)

答 現状のゆとりあるコースの維持が良いと考えている。



この質問のその後は
現在の敷地内での増設についても検討したが、設置基準や認定基準に合致しないホールがでてくるなど問題がある。現状のままでもゆつたりと広く爽快感あふれる27ホールでプレーを楽しんでもらうことが望ましいと思っています。

ファミリーサポート・センターに関する質問

問 仕事と育児の両立を目指す環境整備としてファミリーサポート・センターの設置を早急に。(H19年9月議会、議会だより56号)

答 平成16年に策定した次世代育成支援行動計画の中で位置付け、平成20年の実施を予定している。

この質問のその後は

平成22年3月に子どもセンターにおいてスタートしました。

現在、登録会員は19名で、平成22年12月末現在、6件の利用がありました。今後も、広報誌等を活用し会員募集を積極的にを行い、地域で子育てを支援するファミリー・サポートセンター事業の充実を図ります。



子どもセンター

地球温暖化防止に関する質問

問 環境保全対策の充実は万全か？環境基本法・地球温暖化対策推進法に基づき我が町も策定しては。（H19年12月議会、議会だより57号）

答 第5次総合計画の中に位置付けたい。

問 温暖化防止対策の取り組みは。（H20年3月議会、議会だより58号）

答 法律に基づき地域推進計画に合わせ実行計画を策定したい。

問 第5次総合計画と地球温暖化対策の推進状況はその後どうなっているのか。（H20年6月議会、議会だより59号）

答 平成21年度中に計画し策定していく。

この質問のその後は

21年度に地域省エネルギービジョン、地球温暖化対策実行

計画が策定された。

この策定により、

独立法人NEDDより総額約1千万円、グリーン

ニューデール事業

により3千万円の補助を受ける。

現在は新エネルギービジョン策定

中（23年2月策定予定）



リフォーム助成に関する質問

問 個人住宅のリフォーム助成事業をしては。（H20年6月議会、議会だより59号）

答 町民生活営繕と地元業者の喚起と雇用の面からも検討したい。

問 住宅リフォーム助成で地元業者の支援を。（H22年12月議会、議会だより69号）

答 省エネルギービジョンに続き新エネルギービジョンが策定されるので、この実効を上げる意味からも助成制度を具体的に、制度設計を進めている。

この質問のその後は
23年度事業に実際に取り組みよう検討している。

高速回線に関する質問

問 高速回線（光ブロードバンド）への行政としての取り組みは。（H19年12月議会、議会だより57号）

答 行政としてできる範囲で支援する。

問 中富良野、富良野、南富良野、占冠の各市町村で整備している。本町が遅れている理由と今後の展開は。（H22年9月議会、議会だより68号）

答 一部地域から考えたいが、町単独では予算上ハードルが高い。占冠村・南富

良野町は過疎債を利用している。要望をしていくが難しい。

この質問のその後は
民間業者と町は高速回線の充実に向け最新の情報交換に努めている。

上富良野小学校の改築計画に関する質問

問 昭和34年に現在の校舎が建設されてから50年以上が経ち、老朽化している上富良野小学校について、どのように位置付けているのか。（H19年12月議会、議会だより57号）

答 第5次総合計画の早い時期に改築の方向で位置付けするよう調整を進めている。

この質問のその後は

第5次総合計画に位置付けされており、平成23年度実施計画において位置付けられる予定である。



上富良野小学校

議会の“窓”

中富良野町議会との研修交流会・上川管内町村議会議員研修会



上富良野・中富良野
両町議会議員会交流研修会

これからの広域連合のあり方について」をテーマに、2グループでそれぞれ意見交換を行い、その後全体の意見発表が行われました。この中で広域連合が設置され2年が経過し、消防、給食センターなど広域連合に移行した業務の現状とこれからの課題など熱心な意見交換が行われました。



中富良野町議会との研修会

1月31日、上富良野町と中富良野町の両議会による研修交流会が中富良野町で開催され、両町の議員全員が参加しました。研修会は「これからの広域連合のあり方について」をテーマに、2グループでそれぞれ意見交換を行い、その後全体の意見発表が行われました。この中で広域連合が設置され2年が経過し、消防、給食センターなど広域連合に移行した業務の現状とこれからの課題など熱心な意見交換が行われました。

上川管内町村議会議員研修会

上川町村議会議長会が主催する議員研修会に議員13名が参加し、東京大学 月尾嘉男名誉教授の「地球環境に挑戦する日本の技術の分化」と、早稲田大学マニユフェスト研究所客員研究員・東京財団政策研究部研究員・前栗山町議会事務局局長 中尾修氏の「全国に広がる地方議会改革」議会議本条例から考える」の講演を受講しました。

議会の動き

- 【10月】
 - 27日 上川管内町村議会議員研修会
- 【11月】
 - 5日 厚生文教常任委員会 議会運営委員会 全員協議会
 - 9日 第1回議会報告懇談会
 - 12日 厚生文教常任委員会
 - 15日 19日 厚生文教常任委員会 先進市町村行政調査
 - 22日 総務産建常任委員会
 - 26日 議会運営委員会
 - 29日 第5回臨時会
- 【12月】
 - 3日 厚生文教常任委員会
 - 6日 総務産建常任委員会
 - 8日 議会運営委員会
 - 9日 全員協議会
 - 14日 議会広報特別委員会
 - 15日 第4回定例会（1日目）
 - 15日 第4回定例会（2日目）
- 【1月】
 - 11日 第1回臨時会
 - 18日 議会広報特別委員会
 - 24日 厚生文教常任委員会
 - 26日 総務産建常任委員会
 - 28日 全員協議会
 - 31日 議会広報特別委員会 第2回臨時会
- 【2月】
 - 8日 総務産建常任委員会・厚生文教常任委員会 合同委員会協議会
 - 8日 議会広報特別委員会
 - 8日 中富良野町議会 議員会との研修交流会

随感随筆

今までの人生を振り返ったとき、どの時点に戻りたいかと聞かれると『高校時代』と挙げます。受験までの自分なりの徹夜での勉強、国語、数学、理科、社会、英語、保健体育、音楽、美術、技術、全科目履修する必要がありました。高校進学は当時はまだ7割くらいでした。

合格発表の当日の嬉しい興奮は今でも忘れられません。学校祭、クラブ活動、学校行事に、フオークソング、グループサウンズ、ビートルズにと積極的に動きまわり早く大人になりたい高校時代でした。昨年12月卒業3回目の1期生の同期会がありました。120名が学び舎に集まりました。懐かしく同級生に会うと、あんなに突き動かされたのは、一体何だったのかと言う話になりました。将来、未来に夢があったのでしょうか。少子化の影響でしょうか統廃合のため、懐かしい学校も3月31日で閉校です。淡い初夢をみました。

（長谷川 記）



- 委員長 和田 昭彦
- 副委員長 佐川 典子
- 委員 岡本 康裕
- 委員 今村 辰義
- 委員 一色 美秀
- 委員 長谷川 徳行

議会の様子を見にきてください！ 次回は3月上旬頃の予定です。

発行/上富良野町議会 印刷/銜上富印刷
〒071-0596 北海道空知郡上富良野町大町2-1-1
☎(0167)495-6992 ㊟0167-495-5361
http://www.town.kamifurano.hokkaido.